

## 『脳と目がカギ！色のふしぎ 最新研究でひもとく 色覚のしくみから配色のコツまで』

竹内 龍人／著 誠文堂新光社（2023 年）

みんなの目の前には、たくさん色があります。例えば、ディスプレイの表示は、赤・青・緑の三色の色を組み合わせることによって作られています。また、お店の看板にも秘密があります。目につきやすい色をたくさん使って通りかかった人の興味を引くように工夫されています。どの色の服を合わせると見た目が良くなるかなど、みんなが気になることもこの本の中では紹介されています。知らなかった色の世界がたくさん書かれています。この本を読んで身近な色に興味を持ってくださいね。



## 『なんで人は青を作ったの？青色の歴史を探る旅』

谷口 陽子／著 高橋 香里／著  
クレメンス・メッツラー／画 新泉社（2025 年）

「青」には様々な色があります。ラピスラズリから作るウルトラマリンブルーは中世ヨーロッパで重宝され、金と同じ価値の絵具でした。人類最古の人工青色といわれるエジブシャンブルーは、サハラ砂漠の砂を使って作られたものでした。ブルシアンブルーは、日本ではベロ藍と呼ばれ大流行しました。この本はふたりの中学生が、科学倶楽部の実験室で、科学者の森井老人の指導のもと、人類が手にしてきた青色作りに挑戦する物語です。



## 『ぼくの、ひかり色の絵の具』

西村 すぐり／作 大野 八生／絵  
ポプラ社（2014 年）

図画工作の時間にじっくりと山を見ていたユクは、木々の微妙な色の違いをはっきりと感じ、お父さんに買ってもらった特別な「ひかり色の絵の具」で感じたままに色を塗り重ねていきます。ところがユクは、その絵を見た担任の石丸先生にこんな色はうそだ、と言われてしまいます。自分の思いを先生に説明することができず、悔しい思いをするユクですが、図画工作の時間に会ったハネズとの交流を通して、段々と気持ちを伝えられるようになっていきます。作中に出てくる美しい色を楽しむとともに、ユクの成長を見守ってください。



## 『名画のひみつがぜんぶわかる！』

すごすぎる絵画の図鑑

青い日記帳／著 川瀬 祐介／監修  
山下 直久／発行 KADOKAWA（2024 年）

「絵画鑑賞ってむずかしそう。」そうしてしまうのはもったいない！美しい女性が描かれている日本の「美人画」を当時の人達は、好きなアイドルの写真のような感覚で楽しんでいた？動物が描かれている「鳥獣人物戯画」は“日本最古のマンガ”とされているが本当なのか？東洲斎写楽が描いた役者絵が、現代のトレカのルーツになっている？など、知れば知るほど絵画の世界が楽しくなるような豆知識がたくさん掲載されています。

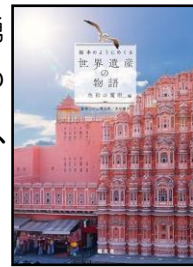


## 『絵本のようにめくる 世界遺産の物語』

色彩の魔術編

村山 秀太郎／監修 本田 陽子／監修  
昭文社（2021 年）

好きな色はなんですか？例えば、紫色のマジックアワーに浮かび上がる「モン・サン・ミッシェル」。フランス北西部のサンマロ湾に浮かんでいます。8世紀に建てられた修道院で、今も世界中から巡礼者が訪れます。歴史ある崇高なこの場所には、神秘的で気品を感じる紫色がよく似合います。元気が湧いてくるオレンジ色の町並みや、歴史や伝統を連想できる茶色の城塞都市など、11色からイメージする世界遺産の物語をお楽しみください。



## 『京都岡崎、月白さんとこ』

人嫌いの絵師とふたりぼっちの姉妹

相川 真／著 集英社オレンジ文庫（2020 年）

父を亡くし、二人きりになってしまった女子高生の茜と妹のすみれは、親戚の絵師、久我青藍が住む「月白邸」に引き取られることになりました。茜は、人嫌いだと言われている青藍に迷惑をかけないように、邪魔をしないように、と気を遣います。そんな中、父が描いた掛け軸の風帯を青藍に直してもらったことをきっかけに、姉妹と青藍は徐々に同じ時間を過ごすようになっていきます。作中にたくさん出てくる色の名前にもご注目ください。



## 他にもあるよ こんな本

- 『色えんぴつでイラスト 12色ではじめる  
色あそび 好きな色を探して、色そのものを楽しもう』  
ふじわら てるえ／著 誠文堂新光社  
(2018 年)
- 『エノグ屋の言葉集  
月光荘のユーモアカードと色ポエム』  
月光荘画材店／著 産業編集センター  
(2021 年)
- 『美人画で味わう  
江戸の浮世絵おしゃれ図鑑』  
赤木 美智／著 太田記念美術館／監修  
メイツユニバーサルコンテンツ(2023 年)
- 『色彩の息子』  
山田 詠美／著 集英社 (2014 年)
- 『STORY COLOR BOOK  
物語を感じる配色アイデア』  
桜井 輝子／著 インプレス (2024 年)
- 『縞と色彩の石アゲート  
不思議で綺麗な石の本』  
山田 英春／著 創元社 (2020 年)
- 『キッチンでできる草木染めレッスン帖  
新装版 材料から染め上がりまで写真でわかる』  
佐藤 麻陽／著 ブティック社 (2022 年)

面白い本は  
見つかったかな？



とっぴー

次回も  
お楽しみに！！

富田林市立図書館

2025年 9月 発行

# YA通信 第77号

テーマ

いろ

